

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

原発性胃癌の治療成績に関する多施設共同観察研究-2

【目的】

新規胃癌罹患患者数は年々減少傾向にあるものの、依然として死亡原因となる主要疾患の一つです。胃癌治療ガイドラインでは、根治が期待できる遠隔転移を有さない胃癌の治療法選択は概ね定まっていますが、依然として不明な点も多く、実臨床においては症例毎・施設毎に治療法が異なっているのが現状です。そのため、多施設から情報を収集し、胃癌患者さんの長期成績と予後因子を明らかにすることを目的としています。

【対象】

1992年1月から2026年12月までに胃癌の診断を受け、当院において治療を受けた方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータはパスワード管理されたUSBメモリへ入れ、研究事務局（横浜市立大学附属病院 消化器外科）へ手渡しされ、研究事務局で保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報・画像は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録：年齢、性別、既往歴、併存疾患、身長、体重、血液検査結果、画像検査結果
治療前診断、術前・術後治療（化学療法）、手術情報、病理所見、術後合併症の有無
予後情報、再発時の治療情報 等

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2032年12月31日まで

【研究代表者】

横浜市立大学附属病院 消化器外科 小坂 隆司

【共同研究機関】

横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、藤沢市民病院、横須賀共済病院
国立病院機構横浜医療センター、横浜市立みなと赤十字病院、横浜市立市民病院

【当院の研究責任者】

消化器外科 田中 優作

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1
電話 045-316-4580（病院代表） 消化器外科 田中 優作

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。